

# メインテーマについて ～大会開催にあたり～

安藤 享平（実行委員長 / 郡山市ふれあい科学館）

## On the Main Theme

Kyohei ANDO (Koriyama City fureai Science Center)

Abstract

### 1. 新たな天文教育への取り組みに向けて

今回の天文教育研究会は、昨年の第20回大会の「成人式」を受け継いでの、まさに新たな天文教育の一步への歩みを進める大会となりました。今年の年會を迎えるにあたって、昨年の成人式と時を前後して、天文教育でも大きな変動がいくつもありました。

学校教育関係では学習指導要領の改訂が進みつつあり、社会教育施設では指定管理者制度をはじめとする環境の激変、一般教育分野を含めた全体としては2009年の世界天文年に向けて日本委員会が組織されビッグイベントへの準備を進めつつあるなど、天文教育の各分野で大きな話題・課題がありました。そして、最初の天文教育研究会の開催・初代天文教育普及研究会会長としてご尽力された磯部琇三さんが逝去され、昨年の“成人式”であった年會と併せ、次の時代についていろいろと考えることとなりました。

そこで、今年が會が結成された当初の趣旨を考え、原点に回帰しつつ参加者・會員のみなさんが多くの“生きた”情報を得て、広い視点から議論し、次のステップを各自・全体が考え進むことができる場を設けられるようにと考えました。

### 2. メインテーマ「受信！ 発信！！ 天文教育」について

今回の天文教育研究会は、「受信！ 発信！！ 天文教育」をメインテーマにいたしました。これは、この研究会ならではの特色ではありますが、研究者・学校教育関係者・社会教育施設関係者・天文愛好家など、幅広く天文教育に関係する人々が一同に集うことから、各分野で実践されている天文教育の手法についての情報交換と議論、有効な情報の共有を参加者で行い、全国で活発な天文教育活動が展開するきっかけとなることを目指すことを意図してのものです。おかげさまで、今回は49件もの多くの発表を参加のみなさんからいただきました。発表の間の休憩時間にも、参加者のみなさんの間で非常に活発な議論や情報交換が行っていただけ、多くの方々の活動についての情報や考えを、みなさんが「受信」し「発信」されたのではないかと思います。

今回の集録では、参加されなかったより多くの方々に「受信」していただくとともに、この集録がみなさんの活動における「発信」の参考となれば幸いです。

### 3. 企画セッションについて

メインテーマに関連して、東北大学教授の土佐誠・日本天文学会理事長にもお越しいただきました。研究者として、市民として、また社会教育施設との繋がりから、と各分野に関係する天文教育のご経験についての招待講演をいただきました。土佐先生も研究会に初日から参加いただき、直前で更に大幅に内容を変更していただき、まさに土佐先生の人生の歩みを踏まえた講演となりました。

ました。土佐先生の幅広いご経験、また静かに語られる天文教育への熱い情熱で会場が包まれ、参加のみなさんとまさに一体となりました。(蛇足ですが...土佐先生も今回の年会で天文教育普及研究会の会員となりました)

また、当会では今回は分野を超えての広い視点からの議論・連携した活動を意識し、2つの企画セッションを開催しました。

各分野で共通して実践されている天体観望会を題材とした「星空教室/星空案内/星空ガイドツアー、大研究」では、「星空案内人資格認定制度」を創設し活動に取り組まれている、やまがた天文台の柴田晋平さん・佐藤理絵さんに進行をお願いし、各分野から8名の方に実践をお願いしました。あいにくの悪天候でしたが、室内での活動という中での工夫点や語りのスキルなど、多くの発見もありました。

天文教育に関する共同した行動、取り組みや実践を目指したセッション「天文教育コミュニティの結集に向けて」では、日本天文学会(教育委員会)・日本プラネタリアム協議会・日本公開天文台協会・天文教育普及研究会の代表が一同に会することができました。昨年に公開天文台のコミュニティが結成され、また今年はプラネタリアム団体が一つにまとまる中で、天文教育に携わるコミュニティが共通の認識を持った活動を展開し、また情報交換を密にした連携をもった取り組みに今後進む一步を目指してのものでした。今回は限られた時間の中で、指定管理者制度を中心とした天文教育の問題点について議論を行いました。

#### 4. 最後に

今回は、参加者のみなさんの発表に頼ったメインテーマでしたが、発表されたみなさん・そして朝から早朝?まで議論に加わってくださった参加のみなさんによって成立した研究会でした。それ以外にも、研究会運営で至らない点を、暖かく見守っていただき、また多大なるご協力もいただきました。改めて、この研究会の持つさまざまなパワーを感じることができました。感謝申し上げます。

また参加されなかった多くの方々からも、アドバイスや資料の提供など、さまざまな点でお力添えいただきました。本当に感謝いたします。

今回は1993年以来の東北地方での研究会開催でした。東北地方といっても広範囲で、事前準備はメールを中心に議論し、顔を合わせることもままありませんでしたが、年会当日には実行委員や支部会員のみなさんが集結し、学生のみなさんのご協力と併せ、あうんの呼吸?でさまざまな業務を遂行することができました。ありがとうございます。

そして、この冊子をご覧の全ての方に感謝申し上げ、これからの天文教育発展へのご協力をお願いいたします。

実行委員 : 石原裕子・伊藤芳春・近藤正宏・  
佐藤理絵・柴田晋平・永沢敏昭・  
中村泰久・水谷有宏・渡邊景子

協力(学生アルバイト):

太田孝弘・加藤篤・亀谷光  
木村雄太・鈴木雄太・松尾麻紀

**天文教育研究会 開催地・テーマ一覧**

- 第20回「天文教育普及活動の20年、そしてこれからの20年」  
(2006/8/6~8, 群馬県・伊香保温泉 観山荘)
- 第19回「新しい天文のコミュニティ - その創造に向けて - 」  
(2005/7/31~8/2, 兵庫県立西はりま天文台公園)
- 第18回「広義の天文教育における多様性をさぐる - 私の信念・あなたの理想 - 」  
(2004/8/23~25, 長野県・名古屋市御岳休暇村)
- 第17回「天文教育が未来を開く - IT時代の「リアル」を求めて - 」  
(2003/7/28~30, 香川県・仁尾町立国民宿舎つたじま荘)
- 第16回「羽ばたけ天文教育 - 学校教育と社会教育の接点を求めて - 」  
(2002/8/6~8, 北海道・グリーンピア大沼)
- 第15回「天文学・教育・社会 - 21世紀における天文教育の飛躍 - 」  
(2001/8/5~7, 福岡県・国立夜須高原青年自然の家)
- 第14回「総合的な学習の時間と天文」 (2000/8/6~9, 群馬県立北毛青年の家)
- 第13回「地域に根ざした天文教育 - 半径x kmの天文教育と普及」  
(1999/7/27~30, 和歌山県・かわべ天文公園, セミナー未来塾)
- 第12回「天文教育普及の問題点 - 現場におけるさまざまなギャップ - 」  
(1998/8/4~7, 鳥取県・さじアストロパーク・佐治天文台)
- 第11回「宇宙をみせる - 学校教育・社会教育・一般普及との連携 - 」  
(1997/8/4~7, 神奈川県・相模セミナーハウス)
- 第10回「宇宙を身近に感じられるために」  
(1996/7/31~8/3, 新潟県「かんぼの宿妙高」 / 「国立妙高少年自然の家」)
- 第9回「宇宙を見る目を育てる - 天文教育実践の今 - 」  
(1995/8/1~4, 兵庫県立西はりま天文公園)
- 第8回「学校教育における天文教育」「天文教育とアマチュア」  
(1994/8/1~4, JA鴨方・遥照山簡易保険保養センター・美星町民会館)
- 第7回「天文教育に求められるもの - 今まで欠けていたものは何か - 」  
(1993/8/1~4, 福島県・土湯温泉「観山荘」)
- 第6回「なぜ天文が必要か」 (1992/8/7~10, 神奈川県・相模セミナーハウス)
- 第5回「天文学者と天文教育関係者との交流 - 天文教育実践への提言 - 」  
(1991/8/17~20, 愛知県刈谷勤労福祉会館)
- 第4回「私がめざす天文教育」 (1990/7/30~8/2, 兵庫県立西はりま天文台公園)
- 第3回「天文教育・普及における問題点とその改善策」  
(1989/8/4~7, 駿台学園高校北軽井沢「一心荘」)
- 第2回「天文教育研究会のあり方」(1988/8/20~22, 駿台学園高校北軽井沢「一心荘」)
- 第1回「小・中・高・大および社会教育における天文教育の問題点」  
(1987/8/17~20, 駿台学園高校北軽井沢「一心荘」)